

響
音

USER GUIDE

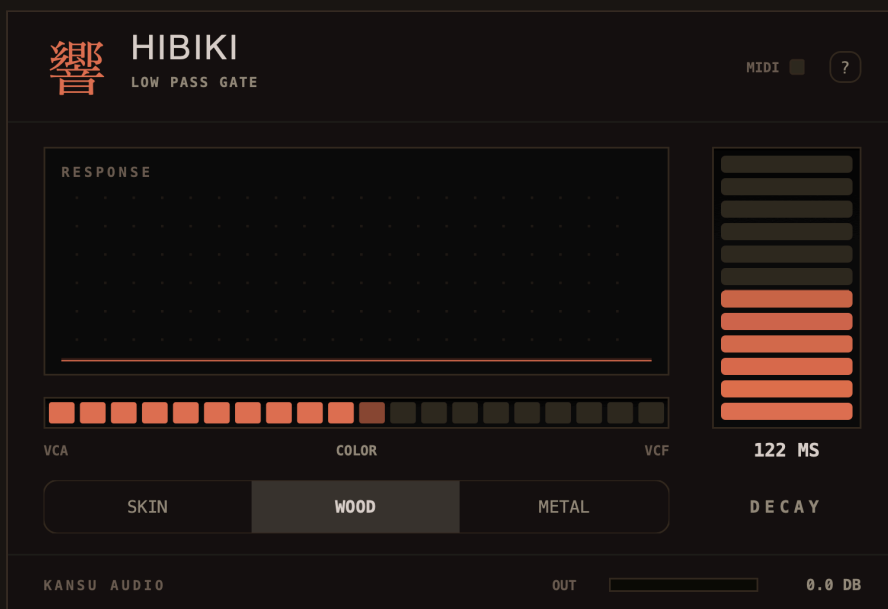
HIBIKI

ローパスゲート

ゲート

ローパスゲートは、エンベロープに対するウエストコーストの答えです。ツマミがフィルターを開くのではなく、ノートがセルを叩き、セルはひとりでに落ちていきます。音量と明るさが同時に下がる、物を叩いたときの減衰。だから出てくる音は、フェードしたのではなく演奏されたように聞こえます。パッドはブラックに。ノイズはパーカッションに。ループはひとつのパートに。

オーディオはトラックから入り、ノートは DAW から届き、ベロシティが打撃の強さを決めます。



SKIN

ミュート

最も遅く開き、最も速く消えます。高域が早く落ちる、鈍くミュートされた打音。アタック 3 ms。減衰は設定値の 0.7 倍。



WOOD

ニュートラル

中間のボディで、まずここから始める一台。輪郭が出るだけの噛みつきと、邪魔をしないだけの減衰。アタック 0.5 ms。減衰は設定どおり。



METAL

余韻

最も速く開き、最も遅く消え、高域を保ったまま抜けていきます。ベルやシンバルの領域。アタック 0.3 ms。減衰は設定値の 1.4 倍。

コントロール

ゲート

DECAY

ゲートが閉じるまでの長さ。5 ms～3 秒。下は乾いたチック、上はゆっくりした 膨らみ。中央で 122 ms。

COLOR

何が減衰するか。左は音量だけが落ち、音色は明るいまま。右はフィルターが閉じ、鳴りを保ったまま暗くなります。中央は両方が同時に落ちる、ブラック。

MATERIAL

何を叩くか。SKIN、WOOD、METAL。

出力

OUT

ゲート後のレベル、-24～+12 dB。メーターをドラッグして設定。ダブルクリックで 0 に戻ります。

表示

RESPONSE

レベルのカーブをリアルタイムに描画。フィルターではありません。COLOR が ノート を暗くしても、この線は上がったままのことがあります。平らなら何も叩いていません。

MIDI

プラグインに届いたノートごとに点灯。ルーティングの問題か音の問題かを、最も速く見分けられます。

?

いま動作しているホスト向けのルーティング手順を開きます。

HINT LINE

コントロールにカーソルを合わせると、説明がメーターの横に表示されます。

セットアップ

全体のかたち

Hibiki には、別々のトラックに 2 つのものがが必要です。ゲートをかける**オーディオ**と、ゲートを開く**ノート**。プラグインはオーディオトラックに挿し、ノートはそこへ向けた MIDI トラックから送ります。

最初のノートが鳴るまで無音なのは正常です。ローパスゲートは何かに叩かれるまで閉じたまま。モジュラーの LPG がトリガーを待つのも同じです。音が出ないときは、まずヘッダーの MIDI ランプを見てください。



ABLETON LIVE

- 1 ゲートをかけたいオーディオのトラックに Hibiki を挿します。
- 2 MIDI トラックを作り、クリップにリズムを書きます。
- 3 そのトラックの **MIDI To** をオーディオトラックに設定し、2 つ目のメニューで Hibiki を選びます。
- 4 再生します。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

LOGIC PRO / GARAGEBAND

- 1 ソフトウェア音源トラックを作ります。
- 2 音源スロットで **AU MIDI-controlled Effects > Kansu Audio > Hibiki** を選びます。
- 3 プラグインのヘッダーで **Side Chain** をオーディオのトラックに設定し、そのトラックをミュートします。
- 4 音源トラックでノートを弾きます。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

REAPER

- 1 ゲートをかけたいオーディオのトラックに Hibiki を挿します。
- 2 リズムを入れた MIDI トラックを作ります。
- 3 MIDI トラックから **Route > Add send** で Hibiki のトラックへ送り、MIDI を all にします。
- 4 再生します。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

BITWIG STUDIO

- 1 ゲートをかけたいオーディオのトラックに Hibiki を挿します。
- 2 リズムを入れたノートトラックを作ります。
- 3 ノートトラックの出力を、オーディオトラック上の Hibiki に設定します。
- 4 再生します。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

FL STUDIO

- 1 ゲートをかけたいオーディオのミキサートラックに Hibiki を読み込みます。
- 2 プラグインのラッパー設定で MIDI 入力ポートを指定します。たとえば **1**。
- 3 パターンを入れた MIDI Out チャンネルを追加し、ポートを同じ番号にします。
- 4 再生します。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

その他の DAW

- 1 ゲートをかけたいオーディオのトラックに Hibiki を挿します。
- 2 リズムを入れた MIDI トラックを作ります。
- 3 その MIDI 出力を Hibiki へ向けます。エフェクトへの MIDI ルーティング方法は DAW ごとに異なります。
- 4 再生します。ノートごとに MIDI ランプが点灯します。

プラグインはホストを判別します

ヘッダーの ? ボタンは、読み込み時に判別したホスト向けに、同じ手順を表示します。このページを探すより速い方法です。

音が出ないとき

無音の Hibiki は、ほとんどの場合ルーティングの問題であって故障ではありません。上から順に確認してください。最初の一つは MIDI ランプが即座に答えます。

確認

MIDI ランプ	再生中も消えたまま。ノートが届いていません。お使いの DAW のルーティング手順に戻ってください。
オーディオ	ランプは点くのに音が出ない。トラックに何も流れていません。ゲートに通すものがない状態です。
最初のノート	再生前に無音なのは正常です。ノートが叩くまでゲートは閉じています。
DECAY	DECAY はゲートが開いている長さを決めます。最下端では 5 ms で閉じます。上げると元の音がより長く聞こえます。
OUT	OUT はゲート後のレベルで、メーターのドラッグで設定します。下げすぎていないか確認してください。ダブルクリックで 0 dB に戻ります。